

日本國獨逸國間貿易ニ關スル協定ノ實施ニ伴
フ支拂ニ關スル取極（支拂取極）

本日「ベルリン」ニ於テ日本國獨逸國間ニ署名セラ
レタル貿易ニ關スル協定（貿易協定）ノ規定ニ從ヒ
下名ハ右協定ノ實施ニ伴フ支拂ニ關シ左ノ諸條ヲ決
定セリ

第一條

貿易協定第一條ニ規定セラレタル「平和取引」ニ於
テ日本國ニ輸入セラルル獨逸國產品ニ對スル支拂ノ
一部ハ國際間ノ支拂ニ於ケル通常ノ形式ニ依リ自由
ニ使用セラレ得ル外國爲替ヲ以テ行ハルベシ

「平常取引」ニ於テ日本國ニ輸入セラルル獨逸國產
品ニ對スル支拂ノ剩餘ノ部分ハ「平常取引」ニ於テ
獨逸國ニ輸入セラルル日本國產品ニ對スル支拂ト清
算セラルベシ

前項ニ據ゲラレタル清算ヲ實施スル爲横濱正金銀行
「ハンブルグ」支店ニ横濱正金銀行ノ爲ニ「ライヒ
スマルク」特別勅定第一號ヲ設クベシ「平常取引」
ニ於テ獨逸國ニ輸入セラルル日本國產品ノ代金ハ「
ライヒスマルク」ヲ以テ右特別勅定ニ拂込マルベク
「平常取引」ニ於テ日本國ニ輸入セラルル獨逸國產
品ニ對スル支拂中前項ニ據ゲラレタル部分ハ右勅定

ヨリ「ライヒスマルク」ヲ以テ行ハルベシ

第二條

「アスキ」(國內支拂用外國人特別勸定)ヨリノ支拂又ハ私的清算ノ支拂ノ方法ニ依ル支拂ハ「平常取引」ニ於ケル支拂トシテ認メラレザルモノトス

第三條

兩國ノ一方ノ政府ハ貿易協定ニ依ル他方ノ國ノ產品ノ自國ヘノ輸入ニ必要ナル支拂許可(又ハ外國爲替許可)及必要アルトキハ輸入許可ヲモ發給スベシ

第四條

前條ニ據ゲラレタル許可ノ發給ハ「平常取引」ニ於テハ取引ノ性質ノ許ス限リ一年ヲ過ジ出來得ル限リ平均ニ配分セラルベシ

第五條

貿易協定第二條ニ規定セラレタル「特別取引」ニ於テ日本國ニ輸入セラルル獨逸國產品ノ一部ニ對スル支拂ハ同様ニ「特別取引」ニ於テ獨逸國ニ輸入セラルル日本國產品ノ一部ニ對スル支拂ト同額清算セラルベシ

前記支拂ノ清算ヲ實施スル爲横濱正金銀行「ハンブルグ」支店ニ横濱正金銀行ノ爲ニ「ライヒスマルク」特別勸定第二號ヲ設クベシ前項ニ據ゲラレタル日本國產品ノ代金ハ「ライヒスマルク」ヲ以テ右勸定ニ

拂込マルベク獨逸國產品ニ對スル前項ノ支拂ハ右勘定ヨリ「ライヒスマルク」ヲ以テ行ハルベシ

第六條

「特別取引」ニ於テ日本國ニ輸入セラレタル獨逸國產品ニシテ前條ノ規定ニ從ヒ清算セラレザルモノニ對スル支拂ノ五割ハ「特別取引」ニ於テ獨逸國ニ輸入セラレタル日本國產品ニシテ前條ノ規定ニ從ヒ清算セラレザルモノニ對スル支拂ト清算セラルベシ
前記支拂ノ清算ヲ實施スル爲横濱正金銀行「ハンプルグ」支店ニ横濱正金銀行ノ爲ニ「ライヒスマルク」特別勘定第三號ヲ設クベシ前項ニ對セラレタル日本國產品ノ代金ハ「ライヒスマルク」ヲ以テ右勘定ニ拂込マルベク前項ヲ定ムル所ニ依リ清算セラルベキ獨逸國產品ニ對スル支拂ハ右勘定ヨリ「ライヒスマルク」ヲ以テ行ハルベシ

本條第一項ニ對セラレタル獨逸國產品ニ對スル支拂ノ剩餘ノ五割ハ獨逸國銀行團ニ依リ横濱正金銀行ニ與ヘラルベキ信用ヲ以テ横濱正金銀行「ハンプルグ」支店ニ横濱正金銀行ノ爲ニ設ケラルベキ「ライヒスマルク」特別勘定第四號ヨリ「ライヒスマルク」ヲ以テ行ハルベシ

前記信用ノ停付ハ横濱正金銀行ト獨逸銀行團トノ間ニ締結セラルベキ取極ニ依リ決定セラルベク右取極

ハ兩國ノ權限アル官憲ノ承認ヲ受クベキモノトス

第七條

本取極第一條、第五條及第六條ニ掲ゲラレタル「ライヒスマルク」特別勅定第一號、第二號、第三號及第四號ノ設定條件及該勅定ノ利用條件ハ横濱正金銀行ト「ライヒスバンク」トノ間ニ締結セラルベキ取極ニ依リ決定セラルベク右取極ハ兩國ノ權限アル官憲ノ承認ヲ受クベキモノトス

第八條

本取極ハ貿易協定ノ效力發生ノ日ヨリ實施セラルベク且右協定ト同一ノ存續期間ヲ有スベシ
貿易協定ノ期間満了前ノ廢棄ノ場合ハ首記第一條、第五條及第六條ニ掲ゲラレタル「ライヒスマルク」特別勅定第一號、第二號、第三號及第四號ハ本取極ノ規定ニ從ヒ整理セラルベキモノトス

昭和十四年 月 日即チ千九百三十九年 月

日「ベルリン」ニ於テ同等ノ効力ヲ有スル日本語及獨逸語本文ヲ以テ本誓二通ヲ作成ス